

2015年2月3日

世界平和を願っている世界中のみなさまへ

NGO こめ（光命） 代表 富井富士子

争いや奪い合いなどの負の連鎖を止めることができたらと祈念しています。
お読みいただき、宜しいようでしたら、ご協力お願いします。（拡散大歓迎）

私たちは、幼子の笑顔を未来に繋げる「未来づくり」を考えました。

子どもたちが観ています。子どもたちは、観たことを繰り返すのです。
子どもたちに繰り返して欲しい「未来づくり」を、今、始めてみませんか。

お米作りで、平和な世界づくりを始めてみませんか。

世界中の砂漠に、お米を栽培することができたら、世界中が平和になります。
人は、食べることで生かされています。
お金や爆弾や武器を食べて生きているではありませんから。

そのことに気付いた人たちから、立ち上がり「未来づくり」を始めませんか。
静かに楽しく未来を創る姿を、観て育った子どもたちが、私たちが始めた「未来づくり」を引き継ぎ、戦争のない平和な世界を継続してくれることでしょう。

私たちは、世界中の砂漠にお米を栽培することで、世界平和が叶うだろうと
考え、その為の準備を行ってきました。既に実施可能構想としてパンフレット
にまとめてあります。モデルづくり建設予算を200億円と想定し、今年、モ
デルづくり建設が叶い準備することが出来れば、来年から砂漠にお米作りを始
めることができると考え働きかけています。

この構想は、日本国内の内需拡大産業になる構想でもあります。日本でも、
都市と地方の格差が著しく、私たちの地域は長く苦渋を舐めてきました。その
是正として、国が地域住民の考える地方活性化構想提案を呼び掛けました。そ
の流れに乗せるべく提案も行っています。

これまで、私たちの構想は、「モデル（パンフレットの呼び水事業）」が作品
（製品）という捉え方であること、世界に例のないことから、インターネット
等の媒体を使用しないで、普及活動を行ってきました。

私たちは、宗教については詳しく分からないのですが、イスラム教やキリス
ト教等の教えの中に、人類が神様とお約束したようなものがあるのでしょうか。
そのお約束した期日が近いのでしょうか。

私たちの構想が、一連の世界の出来事とシンクロナイズしているように感じ、また私たちの構想を探されているようにも感じ、この度インターネット上に配信することにしました。

私たちの住む地域には、日本一の大河 信濃川が在ります。魚沼産コシヒカリ米の産地です。そして日本有数の豪雪地で、冬に3m程の積雪があります。厳しい自然環境ですが、火焰型土器をはじめとする縄文土器の出土から、9,000年間程続いた縄文時代の都が在ったのではと言われる研究者も出ています。しかし残念ながら、そのことを知っている日本人はほとんどいません。

私は、とても緻密で芸術性の高い火焰型土器が出土されたことから、古代縄文時代には、すでにお米が栽培されていた可能性を感じ、そのことで、平和な時代が長く続いたのだらうと予測していました。

2006年に、リビア、エジプトを旅しました。世界遺産登録されている石造建造物を観て、平和が長く続いた時代があったのだらうと想いました。地形や古い民家から、その時代は、現在の砂漠でお米を栽培していたのだらうと想像できました。そして、広大な領地の国だったのだらうと想像しました。

リビアに行ったのは、3月末でした。最高気温が25℃位で最低気温が10℃位に記憶しています。エジプトに行ったのが9月末で、最高気温が52℃で最低気温が15℃位に記憶しています。私たちの住む地域は、冬を除いてお米を栽培しています。リビア、エジプトでしたら、夏を除いたお米づくりが可能なように考えています。ハワイでは、年に3回お米栽培ができたそうですから、年に2～3回栽培できるようになるのではと想います。

現代は、人類が宇宙に頻繁に行く時代です。とても高度な科学技術が開発されています。世界中の知恵と技を集めたら、必ず砂漠でもお米を栽培することが可能になります。ナイル川と信濃川、大きさでは敵いませんが、地形的類似点があります。私たちの地域には、お米作りや農業や土木技術があります。

私たち NGO こめ（光命）は、品種改良を重ね砂漠で栽培するためのお米の種を準備しました。また、空気中のチッソを大地の栄養とする農法の実証実験を済ませ、その農法に必要な資材を作る設備の為に、科学技術者から開発いただき参加いただいています。既に特許も取得しています。

子どもたちの未来の為に、砂漠にお米をつくる支援者も、世界中から沢山参加されると想っています。

この続きは、次ページのパンフレットをご高覧いただければ幸いです。

NGOこめ(光命)の目的

自然の摂理を回復させ、循環産業社会を平和的に楽しく構築するための活動を行います。

(循環型社会は、太陽光と地上資源による循環産業社会)

NGOこめ(光命)の名前の由来

NGOとはNon-Governmental Organizationの略で、社会貢献を行うことを目的とした民間団体のことです。

私たちは善き未来をつくるための実験研究をしながら、提案させていただき賛同いただいた方々と活動し、そのことで平和的に命や心・想いを大切にす未来をつくりたいと考えています。

こめ について：古文書に米のことを光命と表記してあります。「光=愛」、米のように四方八方を照らす活動を行いたいと考えています。

誓い

私たちは、未来は命や心・想いを大切にす社会であると考えています。それは、生存するだけで満点であり、全てが保障され、自らの役割を楽しく行うことができ、共に与え合う社会です。そして、お金で評価される社会ではなくなると考えています。戦争や格差もありません。

「NGOこめ(光命)の活動(事業)で得た収入」は、「命や心・想いを大切にす未来づくり」のための資金源にしたいと考えています。

資金源が集まり次第、NGOこめ(光命)の目的、活動に賛同し、加入いただいた方々に、地域的バランスなどを考慮して、この未来づくりを世界中に広めることを誓います。

(注)今はみなさまから賛同いただいた上で、支援という参加をお願いしている段階です。

お願い

NGOこめ(光命)は、今現在、会員募集を見合わせております。

(注)今は、みなさまから賛同いただいた上で、支援という参加をお願いしている段階です。

必ず前進させ、皆様にインターネット上で、NGOこめ(光命)の会員募集を行います。今しばらくお待ちいただけますようお願い申し上げます。

支援

NGOこめ(光命)は、彗星探索家・木内鶴彦さんの提唱されているNGO活動に賛同して、新潟県中越大地震の翌年(2005年)10月22日に、復興を誓い発足しました。そのような経緯から、木内さんが代表されているNGO GREENGALIAの活動を支援したいと考えています。

(株)富井富士子事務所は、NGOこめ(光命)活動を目的とし屋号とする、地域(まち)おこしのソフトとハード設計を行っている地域開発コンサルタント会社です。誰もやったことのない企画や設計、そして運営は、考案者が責任をもって施設建設、人材育成、地域(まち)づくり指導、施設運営を行い、地域経済や地域住民が育った立ち上がりまでを行わなければ、地域おこしの任務を遂行したことにはならないと考えています。そのようなことから、それら一連の事業委託を受託して行うことのできる定款の会社となっています。

未来づくりに参加いただくと



あなたに、こんなに素敵なプレゼントが届きます!!



® NGOこめ(光命)・ボランティア活動

NGO こめ(光命)事務局
新潟県十日町市水口沢92-3
TEL.FAX: 025-761-1777

® NGOこめ(光命)・ビジネス事業

有限会社 富井富士子事務所 代表取締役 富井 富士子
(地域開発コンサルタント会社、1級建築士事務所、自然食品店「えことびあ」)
新潟県十日町市上野甲997
TEL.025-761-1580 FAX 025-761-1581
E-mail: miraidukuri@ngokome.org

2011年 6月 11日 第1版発行
2012年 8月 28日 第2版発行
2013年 6月 6日 第3版発行
2013年12月 20日 第4版発行
2014年 7月 1日 第5版発行
2015年 2月 3日 第6版発行
2017年10月 20日 第7版発行
2020年 1月 23日 第8版発行
2023年 4月 28日 第9版発行

NGOこめ(光命)の目的

自然の摂理を回復させ、循環産業社会を平和的に楽しく構築するための活動を行います。

(循環型社会は、太陽光と地上資源による循環産業社会)

NGOこめ(光命)の名前の由来

NGOとはNon-Governmental Organizationの略で、社会貢献を行うことを目的とした民間団体のことです。

私たちは善き未来をつくるための実験研究をしながら、提案させていただき賛同いただいた方々と活動し、そのことで平和的に命や心・想いを大切にす未来をつくりたいと考えています。

こめ について：古文書に米のことを光命と表記してあります。「光=愛」、米のように四方八方を照らす活動を行いたいと考えています。

誓い

私たちは、未来は命や心・想いを大切にす社会であると考えています。それは、生存するだけで満点であり、全てが保障され、自らの役割を楽しく行うことができ、共に与え合う社会です。そして、お金で評価される社会ではなくなると考えています。戦争や格差もありません。

「NGOこめ(光命)の活動(事業)で得た収入」は、「命や心・想いを大切にす未来づくり」のための資金源にしたいと考えています。

資金源が集まり次第、NGOこめ(光命)の目的、活動に賛同し、加入いただいた方々に、地域的バランスなどを考慮して、この未来づくりを世界中に広めることを誓います。

(注)今はみなさまから賛同いただいた上で、支援という参加をお願いしている段階です。

お願い

NGOこめ(光命)は、今現在、会員募集を見合わせております。

(注)今は、みなさまから賛同いただいた上で、支援という参加をお願いしている段階です。

必ず前進させ、皆様にインターネット上で、NGOこめ(光命)の会員募集を行います。今しばらくお待ちいただけますようお願い申し上げます。

支援

NGOこめ(光命)は、彗星搜索家・木内鶴彦さんの提唱されているNGO活動に賛同して、新潟県中越大地震の翌年(2005年)10月22日に、復興を誓い発足しました。そのような経緯から、木内さんが代表されているNGO GREEN GAIAの活動を支援したいと考えています。

(有)富井富士子事務所は、NGOこめ(光命)活動を目的とし屋号とする、地域(まち)おこしのソフトとハード設計を行っている地域開発コンサルタント会社です。誰もやったことのない企画や設計、そして運営は、考案者が責任をもって施設建設、人材育成、地域(まち)づくり指導、施設運営を行い、地域経済や地域住民が育った立ち上がりまでを行わなければ、地域おこしの任務を遂行したことにはならないと考えています。そのようなことから、それら一連の事業委託を受託して行うことのできる定款の会社となっています。

未来づくりに参加いただくと



あなたに、こんなに素敵なプレゼントが届きます!!

新しい価値観による
「豪雪・中山間地の基幹産業モデル」をつくります。
(循環産業社会ムラモデル)
未来づくりに参加してみませんか!

NGO こめ (光命)

® NGOこめ(光命)・ボランティア活動

NGO こめ(光命) 事務局
新潟県十日町市水口沢92-3
TEL.025-761-1580 FAX.025-761-1581

® NGOこめ(光命)・ビジネス事業

有限会社 富井富士子事務所 代表取締役 富井 富士子
(地域開発コンサルタント会社、1級建築士事務所、自然食品店「えことびあ」)
TEL.025-761-1580 FAX.025-761-1581
E-mail: miraidukuri@ngokome.org
ホームページ <http://www.ngokome.org/ecotopia/>

2011年	6月	11日	第1版発行
2012年	8月	28日	第2版発行
2013年	6月	6日	第3版発行
2013年	12月	20日	第4版発行
2014年	7月	1日	第5版発行
2015年	2月	3日	第6版発行
2017年	10月	20日	第7版発行
2020年	1月	23日	第8版発行
2023年	4月	28日	第9版発行
2024年	3月	20日	第10版発行

© (有)富井富士子事務所

® NGOこめ(光命)が考えている「未来づくりビジョン」

未来は、循環産業社会

© 有富井富士子事務所

命や心・想いを大切に作る未来は、持続可能な循環産業社会です。

人類は、地球の生態系のバランスを取る役割を持たされ、地球に誕生した最後の動物です。地球の生態系を取り戻すことを産業とする循環産業社会にすることで、最低限の苦難はありますが、歓喜して生態系そのものの地球を取り戻し、人類が平和に幸せに暮らし続ける明るい未来に成ります。

1. 循環産業社会の活動 (図1は活動イメージです)

①植物を守る

②衣食住を確保する

③新エネルギーを出現させる

③新エネルギーを出現させる活動

エネルギーの課題

- ・温室効果ガス (CO₂換算物質) の増加によるオゾン層の破壊
- ・リチウムは空気中のチッソと化合し爆発
- ・化石燃料の枯渇
- ・発電所建設、発電、送電による環境、人体への影響
- ・発電所、送電の災害時の危険性と送電不通
- ・原子力発電の高い危険性と光害

↓ 転換

循環するエネルギー

- ・環境を汚さないもの
- ・植物は腐っても、燃やしても循環内 (注: 森林の木は無限ではない。間伐材・ボコ伐材利用は、治山整備、森林整備内)
- ・地下資源を燃やさないで熱になるもの
- ・石油製品も安全にサイクル品にできるもの
- ・「ごみ」も安全にサイクル・リサイクル品にできるもの(ごみがなくなる)
- ・永久的使用可能なもの
- ・安価なもの

①植物を守る活動

植物の課題

- ・森林の伐採、山津波(土砂崩れ)による砂漠化
- ・CO₂の増加(酸素の不足)
- ・森林の樹木の立ち枯れ
- ・森の動物が人里に出没
- ・植物の光害(夜の明かりによる害)によるストレス
- ・農薬、化学肥料の使用による、山川海の異変と異常気象

土づくり・森林の整備

- ・生態系のバランス再生
- ・森は海の恋人(植樹・治山整備)
- ・山川海の災害の防止
- ・農薬、化学肥料の使用消滅
- ・犯罪、自殺の防止
- ・労働と引換えとしての収穫物
- ・午後10時消灯

↓ 転換

②衣食住を確保する活動

「森を守る文化(心)」の習得

人類の存在意義の転換

人類の暮らし(衣・食・住)が地球環境のバランスを整えるものに転換させる。

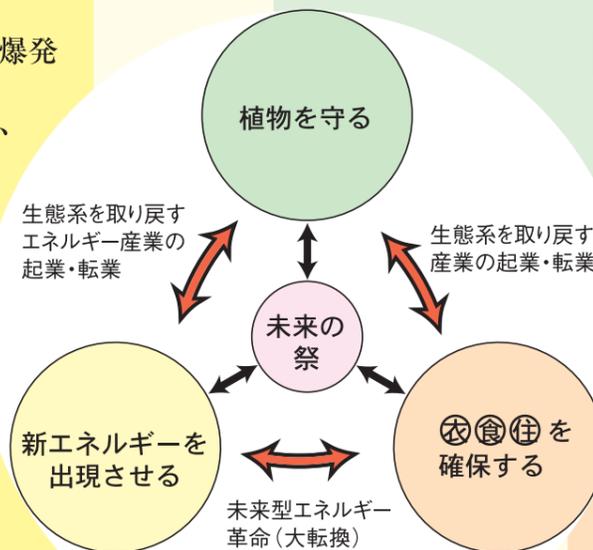
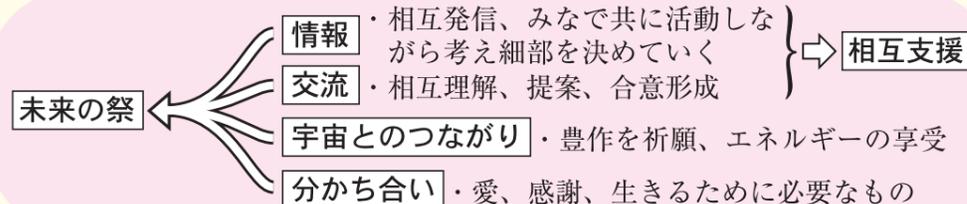
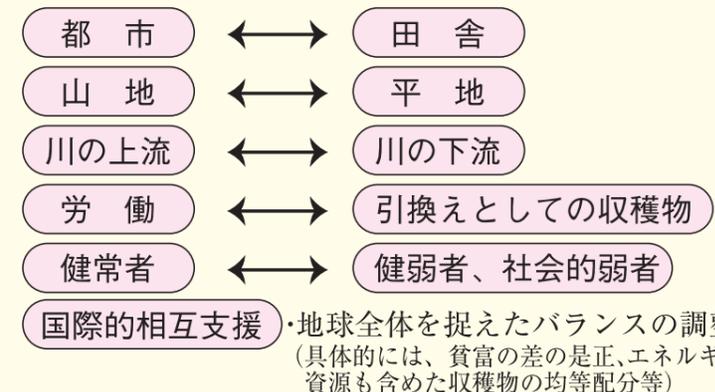


図1. 活動イメージ図



2. 循環産業社会は、相互支援社会です



3. 循環産業社会は、お金だけが価値でない社会です。目指す姿は、

- ・存在するだけで満点
- ・能力ではなく、生活に応じて必要なものが与えられる社会
- ・縦社会でなく、横社会、相互扶助社会
- ・利他的思考・活動・労働社会
- ・必要なものは、交換し合う、与え合う、分かち合う社会

新しい価値観による「豪雪・中山間地の基幹産業モデル」をつくります
「(循環産業社会ムラモデル)」

未来づくりに参加してみませんか!

自らの住む地域(まち)は、住む人みんなに関わってつくるものです。誰かがつくったものでは、愛着も育たず、自分の居場所も出来にくいものです。

そして、大変な作業かもしれませんが、本当は、望む未来を描きつくることは、楽しいことなのです。私たちの「豪雪・中山間地の基幹産業モデル」が有ることを、知れば知るほど、あなたは未来を描くことが楽しくなることでしょう。

未来づくりに参加して、新しい価値観による「豪雪・中山間地の基幹産業モデル」で、楽しい夢を描いてみましょう!

※新しい価値観(これからのビジョン)、「生態系を取り戻す産業モデルづくり」、「豪雪・中山間地の基幹産業モデルづくり」企画については、このパンフレットの中面に詳細が掲載してあります。ご高覧をお願いします。

未来づくりの参加の仕方

1. 「豪雪・中山間地の基幹産業モデル」で、新しい未来を描いてみる

2. 「豪雪・中山間地の基幹産業モデル」が有ることを、身近な方や興味を持たれている方にお伝えして、普及支援する

3. 「豪雪・中山間地の基幹産業モデルづくり」を支援する

- ・「豪雪・中山間地の基幹産業モデル」の早期出現のためには、多くの方に理解いただくことが重要なことです。これまで見たことの無いものを、理論で理解するのは、とても難しいことです。「豪雪・中山間地の基幹産業」を説明する理解し易い地域システムモデルをつくり、理解いただく速度を上げることに努めます。

明るい未来づくりは、みなさまの支援金で始まります。
ご支援よろしくをお願いします。

支援金

1口 10,000円から
上限はありません。

支援金のお振込先

〈郵便振込〉
記号番号 00580-8-83324 NGO光命

〈銀行振込〉
十日町農業協同組合 川西支店
口座番号 普通 0008454 NGO光命

※「豪雪・中山間地の基幹産業モデルづくり」支援に参加された皆様には、進捗の都度、情報提供させていただきます。

「生態系を取り戻す産業モデルづくり」 について

豪雪・中山間地の基幹産業モデルづくり(循環産業社会ムラモデルづくり)

「木質資源新素材転換センター」から始まる、循環産業社会ムラモデルづくり
(人造黒鉛、ナノカーボン、ホワイトカーボン製造センター)

想い(心):「幼子の笑顔未来につなげたい」

- 目的: 1. 山(植物)を守る整備から始まる循環型社会づくり
2. 山(植物)を守る整備から始まる生態系を取り戻す産業づくり

目標: 新しい価値観による「生態系を取り戻す産業モデル」をつくります

その「呼び水事業」として、「豪雪・中山間地の基幹産業モデルづくり」を行います。

「木質資源新素材転換センター」の事業化⇒未来循環博in十日町市圏域!
(人造黒鉛、ナノカーボン、ホワイトカーボン製造センター) 建設予定地:十日町市内(十日町市圏域(十日町市・津南町・長野県栄村・旧高柳町 含む))

※上記詳細は、このパンフレットの中面に掲載してありますので、ご高覧をお願いします。

この内容は、東日本大震災や豪雨豪雪災害から学び、新しい価値観(これからのビジョン)の「豪雪・中山間地の基幹産業モデル」を早期出現させ、生態系を取り戻す産業ができることで、今後の地域(まち)づくりを、地域に住んでいる方々が描く時の大きなポイントになると考えています。

ビジョン・マイスターとして木内鶴彦さんをお迎えし、全面的なバックアップをお願いしました。

NGOこめ(光命)新しい価値観による「生態系を取り戻す産業」が立ち上がるまで、共に歩みます。

この内容の著作権は、NGOこめの母体である一級建築士事務所(有)富井富士子事務所代表取締役 富井富士子に有ります。

この内容に関する一切の責任は、(有)富井富士子事務所の代表取締役であり管理建築士の富井富士子(旧姓:今野、宮城県出身)が負うものとさせていただきます。

この内容に関するお問い合わせは、直接、富井富士子までいただきますことをお願いいたします。

想定外の大地震や津波に見舞われた中、猫の犠牲は僅かであったという報告が挙がっています。私たちが、今これから求める暮らしは、猫や他の動物たちのように、命を守る本能が磨かれるものであること、加えて、全てを機械や電気に頼らない手仕事や、暮らしに重要なものは手で動かすことができる物づくりと暮らしづくりが、新しい価値観の地域(まち)づくりのポイントになります。

そして、大切なものを真中にする、あらゆる考え方の中に子どもや弱者を真中にした社会であれば、とても住み心地の良い「ふるさと」ができることでしょう。

【目標】安心安全な循環産業社会の構築と地球環境の再生を行う内需拡大産業地域モデルをつくり、早期に平和で安全に暮らせる社会を実現させる。
豪雪・中山間地の基幹産業モデルをつくり、雇用を創出し、日本中世界中に普及させる。 ①から⑧の産業地域モデルづくりを行う。

【想い(心):「幼子の笑顔在未来につなげたい」
ビジョン:「未来づくりビジョン」
目的:未来づくりビジョン社会づくり

①生態系のバランスを取り続ける産業

・国土の約7割(2500万ha)が森林。その13.9%(330万ha)が、平成20年~24年で間伐予定だが、ほとんど動いていない。
(京都議定書のCO₂削減目標6%の3.9%は、森林吸収量の確保によるもの)

山を守る協定(生態系を取り戻す約束)のできた地域から間伐・ヨボ伐開始

日本中に荒れた山林在り!

燃料、原材料
間伐材等
未利用木等

高温炭

薪炭焼き窯

発明・開発者:日下部正和

- ・現場で、手造り:短期間で制作可能(薪も有限)
- ・短時間、少ない薪で高温達成可能(薪も有限)
- ・女性でも扱える安全性とメンテナンスも現場で対応可能
- ・特許取得済

農業用活性水
(太古の水飲用外)
開発者:木内鶴彦

放射能汚染にも効果的

②産業廃棄物を処理する産業

・化石燃料使用終了:地上のものを燃やしても循環内。化石燃料を使い続けるとCO₂は増加の一途。採掘済み石油の80%が製品ゴミ、安心安全エネルギー実用化までの繋ぎ燃料、容器等のサイクル利用

産業廃棄物処理する約束のできた地域からゴミ処理開始

世界中に産業廃棄物在り!

高純度炭

サイクル品

太陽光産業廃棄物炉
オリジナル建築設備

熱料:太陽光
原材料:産業廃棄物

- ・太陽光は無料
- ・カーボン電池が電気の主流に
- ・電気の地域分散化が可能
- ・電柱も送電線も不要
- ・国内原料調達で循環する産業が可能

③安心安全な食・水・大地づくり

空気中のチッソ78%を取り込む農業
人体・大地・植物・大気の浄化
砂漠でも米づくり可能

④高純度炭(人造黒鉛)

⑤サイクル品

- 1.生態系を取り戻す
 - 2.産業廃棄物を処理する
 - 3.化石燃料を採掘しない
- 協定(契約)

⑥カーボン電池製造産業。カーボン電池使用製品づくり産業

⑦送電線、送電鉄塔、ダム、三面張り排水路等の撤去

⑧地下資源産業、化石燃料産業から太陽光熱料産業、地上資源燃料(CO₂循環内)産業への大転換

安心安全な循環産業社会の構築と地球環境の再生を行う内需拡大産業モデルができ、早期に平和で安全に暮らせる社会の実現が叶う。
新しい循環産業社会と自然の摂理そのものの地球が誕生

災害の多発
地球環境を壊し続けた産業構造の終焉
行政は、負の経済・環境対処、生活補償で復旧復興の遅れ
地球全体を捉えたビジョンが明確でないため、法改正も追いつかず復旧復興の遅れ

現法規の中で、一企業(弊社)としての、
社会貢献事業という展開が残っている
地球愛・人類愛

循環産業社会、自然の摂理を守る価値観が浸透し、
行政が混乱を収拾させ、本来の機能を回復させたら、
上記3つの協定(契約)を交わした地域に著作権の使用権の貸与を行う。
運営管理(経営利益全て)は、その時の民衆の支持する対象に渡す。

【全内容が弊社コンサルタント業務】誰も考えていない構想は、ハード事業(施設建設など)や経営が伴っても全て教材(ソフト事業)であり、立ち上がりまでコンサルタント業務となります。

豪雪・中山間地の基幹産業モデルづくり:「木質資源新素材転換センター」フローシート
(循環産業社会ムラモデルづくり)

☆早期CO₂の26%削減可能
© (有)富井富士子事務所

大転換『呼び水』事業提案:
楽しく! 未来循環博 in 十日町市圏域!

十日町市・津南町・長野県栄村・旧高柳町

オリジナルソフト・ハード

空気中のチッソを取り込む
農地づくり施工、米(未来米)づくり
技術指導

® NGOこめ(光命)が
実証継続

まず最初に

- ・沖縄県宮古島市に
- ・木内鶴彦氏の科学技術研究所づくり
- ・循環産業社会島モデルづくり

協定(契約)を締結した
森林組合、地域住民組織、法人、他

山(植物)を整備して出てくる
未利用資源(原材料・燃料)

NGOこめ(光命)が
小規模タイプを建設し
1,424度の炭焼き実証済。

木質資源新素材転換センター(工場)
(人造黒鉛、ナノカーボン、ホワイトカーボン製造センター)

建設予定地:十日町市内

日下部正和氏の
科学技術を使った
設備

オリジナル
安心安全に
制御可能な
建築設備

2種類の炭製造
・高温炭
・超高温炭

高温炭の活用

超高温炭の移動

高純度炭

植物由来人造黒鉛
ナノカーボン
ホワイトカーボン

オリジナル建築設備

(日下部正和氏 特許取得済)
特許の名称:高温無煙炭化薪窯
特許 第5541479号

薪炭焼き窯

1次処理
1,200度

太陽光
ナノカーボン・
ホワイトカーボン炉

2次処理
~3,000度

2012.12.18「未来米」
:「200項目全て残留農薬検出されない」
検査結果報告有

農業用活性水(太古の水、飲用外)使用で、単年度実現可能

付加価値をプラス

内需拡大産業(※注記)

大地の浄化、農林業

カーボン電池
(カーボン・アルミ)製造

製品材料
(車、釣竿、ゴルフクラブ他)

構造材料
・カーボン繊維
(飛行機・車等の軽量化)

・カーボンナノチューブ
(アルミの半分の軽さ、
鋼鉄の20倍の強度)

石油由来人造黒鉛を使用して
既に実用化されている

・人造黒鉛不足(コスト高)
・植物からは、人造黒鉛を
製造できないと、教育さ
れていた
空気中に天然のチッソがある。
化学肥料にもチッソがある。
堆肥にもチッソがある。
同様に、
天然の黒鉛(グラファイト)がある。
石油系人造黒鉛がある。
植物系人造黒鉛がある。

山の乱売買・山の木の乱伐を阻止するために、国営事業とし、「生態系の保持」という価値観が浸透するまで、日本中の山をシールドする必要がある

※注記 内需拡大産業: 国の補助事業にしたら、国内原料調達で循環する産業社会転換速度が増す(内需拡大がより促進)。
例えば十日町市や柏崎市、小千谷市あたりに。

国委託・住民提案型地域づくり・モデル事業:21世紀枠になると良いな!

弊社コンサルタント業務範囲